2025年12月期 決算説明資料

2026年7月9日

アサヒグループホールディングス株式会社

目次（リンク）

1. エクゼクティブ・サマリー
2. グループ全体：業績推移と今後の方針
3. 主要指標および財務方針（2025–2030年）
4. 株価とバリュエーションの推移
5. 主要財務指標の推移
6. EPSのガイドライン達成のロードマップ
7. 株主還元の推移と方針
8. 営業CFと財務健全性の推移
9. プレミアム戦略の進展
10. BAC・NAB/LABの対象領域
11. BACグローバル市場の推移
12. BAC拡大に向けた取り組み
13. グローバルブランドの拡大展開
14. ＜再掲＞東アフリカ事業の買収目的と概要
15. ＜再掲＞EABL社の業績概況
16. ＜再掲＞ビール市場概況と主要ブランド
17. ＜再掲＞各国の市場概況
18. グループ全体の収益構造改革
19. プレミアム戦略の進捗
20. 日本・東アジア：業績推移と今後の方針
21. 日本（酒類）：主要トピックス
22. 欧州：業績推移と今後の方針
23. ＜再掲＞欧州：主要トピックス
24. アジアパシフィック：業績推移と今後の方針
25. ＜再掲＞アジアパシフィック：主要トピックス
26. サステナビリティ活動に対する外部評価

＜2025年実績・2026年予想の概要＞

27. 決算ハイライト（売上収益・事業利益）
28. 営業利益・親会社の所有者に帰属する当期利益
29. ＜参考＞システム障害影響の概算
30. 財政状態計算書・CF計算書・各種指標
31. ＜参考＞中東情勢の想定リスクと対応策
32. 日本・東アジア
33. 欧州
34. アジアパシフィック
35. 為替影響（2025年実績）
36. 為替影響（2026年予想）
37. 日本（酒類：売上収益・販売数量）
38 日本（飲料：販売数量）
39. 四半期業績

エクゼクティブ・サマリー

◆ 2025年の総括

- 事業利益（為替一定）は、欧州とアジアパシフィックは計画ラインの増益となったが、日本・東アジアにおけるシステム障害の影響により、計画を下回る前年比7.8%の減益
- BACやグローバルブランド拡大などの成長戦略とグループ全体の収益構造改革が進展
- Diageo 社の東アフリカ事業の株式取得合意による成長市場での事業基盤拡大
- 資本効率の向上に向けて、自己株式約4,040万株（約700億円）を取得

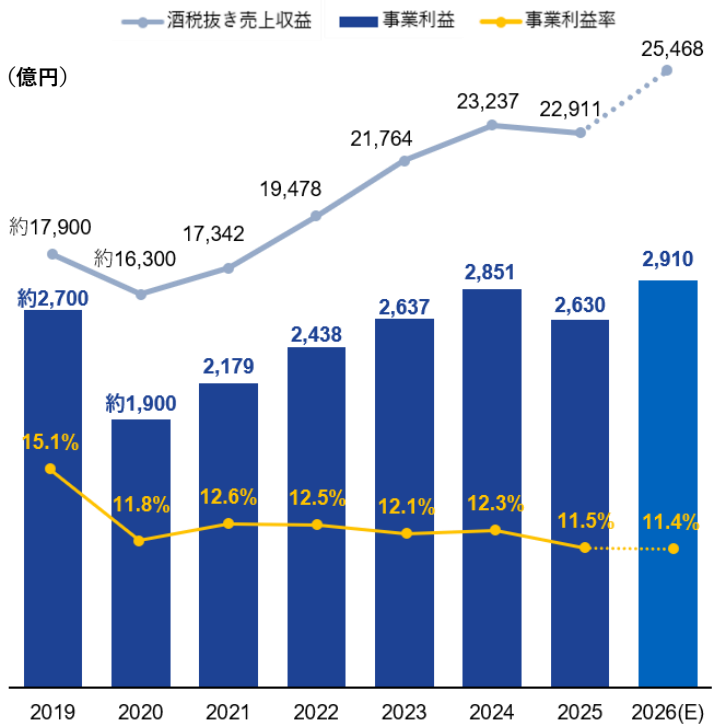
◆ 2026年の方針

- サイバー攻撃の再発防止策とガバナンス強化により、情報セキュリティ管理を高度化する
- 日本・東アジアでは、酒税改正を踏まえたマーケティング強化や構造改革を推進するとともに、欧州とアジアパシフィックでは、成長戦略への投資を継続しつつ着実な業績拡大を図る
- 中東情勢の影響も見据えつつ、プレミアム戦略やマルチビバレッジ戦略を推進するとともに、東アフリカ事業のPMI※を迅速に実行し、グループの成長モメンタムを更に高める
- 主要指標のガイドライン達成に向け、財務健全化と資本効率向上に向けて資本を適切に配分する

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

※PMI：Post Merger Integration（M&Aの成立後に行われる統合プロセス）

グループ全体：業績推移と今後の方針



※2019年、2020年は買収前の豪州CUBの業績を加えたプロフォーマベース

＜業績推移＞

- 2020年のコロナ禍、2022年以降の大幅なコストアップに対し、適切な価格戦略とプレミアム化の推進などにより、事業利益は2024年に2019年を上回る水準に回復
- 事業利益率は、コストプッシュ型の値上げに伴う売上収益の大幅な上昇により12%程度で推移

＜今後の方針＞

- 2025年は、日本におけるシステム障害の影響により減益となったが、2026年は、日本・東アジアの業績回復と欧州、アジアパシフィックにおいても着実な増益を目指す
- 2026年には、2024年を上回る利益水準に回復し、一桁台半ばから後半のCAGRの達成に向けて成長モメンタムを高める

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

主要指標および財務方針（2025-2030年）

- 収益性指標は、利益成長と資本政策が反映されるEPSのCAGRに一本化し、「一桁台後半から二桁」をコミット
- 資本効率の向上が急務であり、ROEとROICを主要指標に追加し、資本コストとのスプレッドを拡大する

主要指標	2025-2030年までのガイドライン	2024年実績	2025年進捗
ＥＰＳ	CAGR：一桁台後半～二桁	126.7円	成長率 △35.8%
（調整後EPS）※1	CAGR：　〃	（120.7円）	（成長率 △18.5%）
ＲＯＥ	11%以上　※株主資本コスト（8%程度）	7.5%	4.3%
（調整後ROE）※2	（14%以上）	（10.7%）	（8.4%）
ＲＯＩＣ※3	10%以上　※WACC（5.5～6%程度）	6.9%	6.1%

※1 事業ポートフォリオの再構築や減損損失など一時的な特殊要因を除くベース

※2 調整後親会社の所有者に帰属する当期利益（事業ポートフォリオの再構築や減損損失など一時的な特殊要因を除くベース）を親会社の所有者に帰属する持分合計（但し、在外営業活動体の換算差額とその他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融商品への投資の公正価値の変動などを控除したもの）で除して算出。

※3 税引後事業利益を純有利子負債と親会社の所有者に帰属する持分（但し、在外営業活動体の換算差額とその他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融商品への投資の公正価値の変動などを控除したもの）の 合計で除して算出。

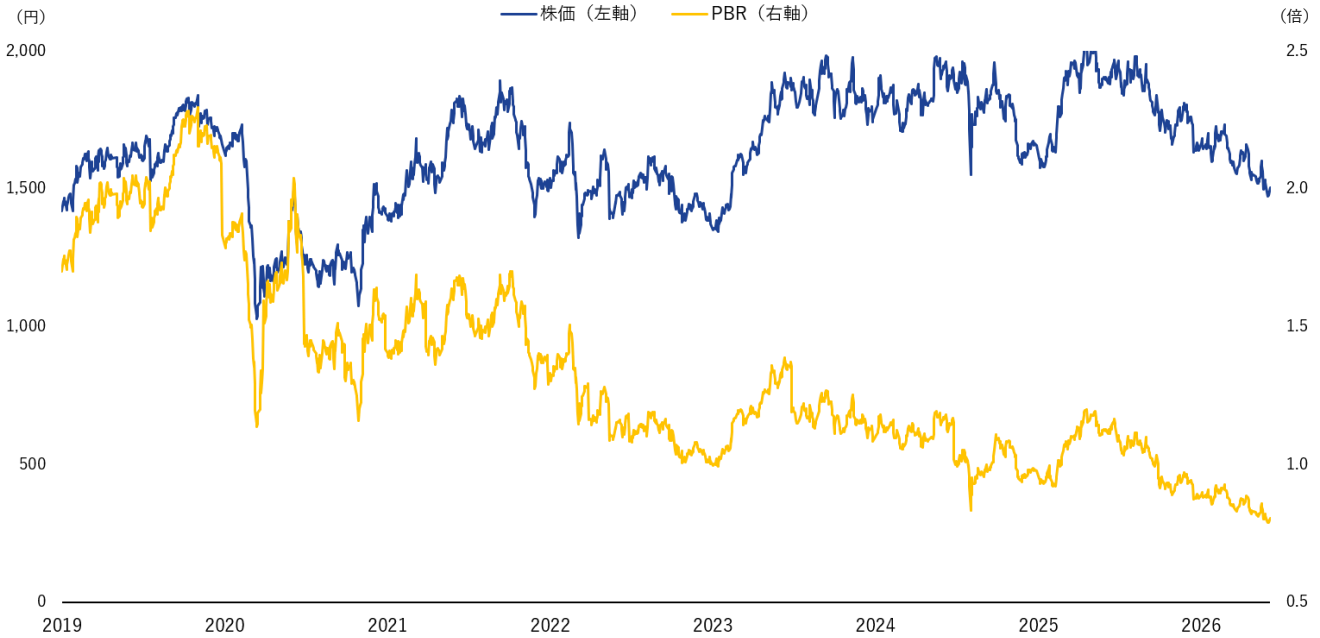
財務方針	2025-2030年までのガイドライン	2024年実績	2025年進捗
株主還元	DOE：４％以上を目指した、累進配当 ＋ 機動的な自社株買い	2.9%	2.7%
財務健全性	Net Debt/EBITDA：2.5~３倍程度を維持	2.49倍	3.70倍

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

株価とバリュエーションの推移

- コロナ禍以降、業績は回復傾向となったが、バリュエーションは低下傾向となる
- PBRの低迷は、利益成長率や資本効率の低下に加えて、ガイドラインの達成の不確実性が主な要因と認識

株価とPBR

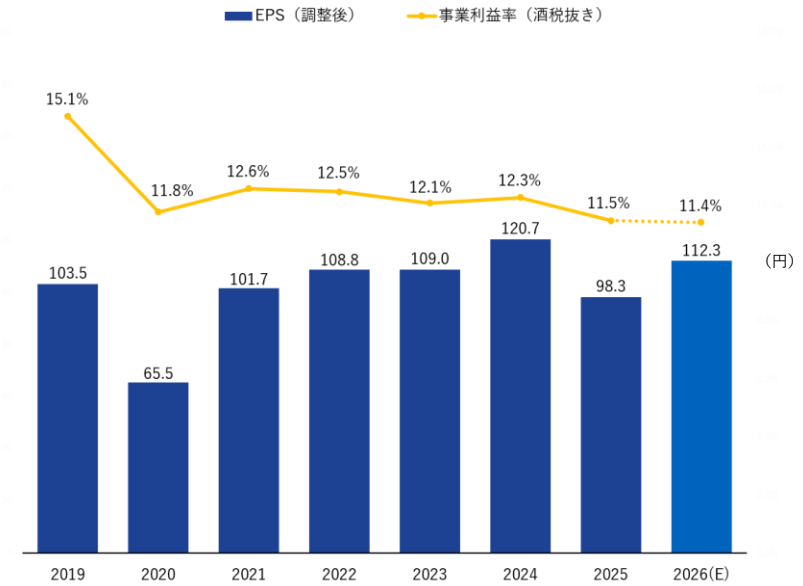


©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

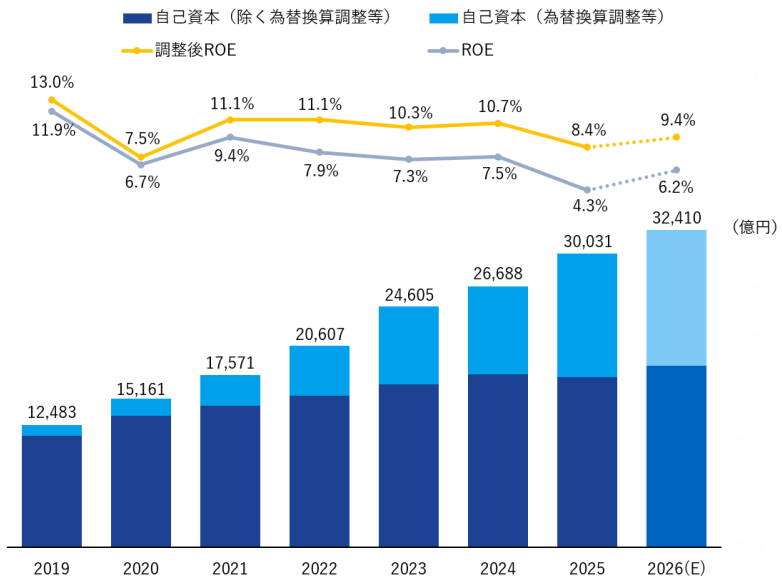
主要財務指標の推移

- 事業利益やEPSは、24年に過去最高水準に回復したが、利益率が横ばいとなり、25年はシステム障害で大幅減益
- 円安による為替換算調整勘定の増加もあり、ROEが株主資本コストと同程度で低迷し、25年は更に悪化

EPSと事業利益率



ROEと自己資本

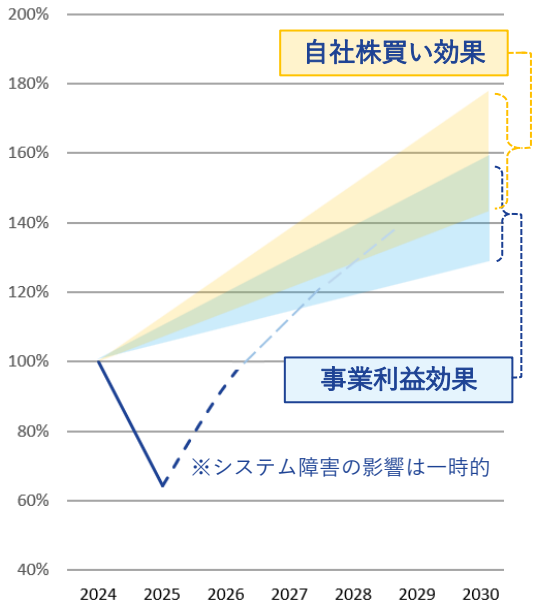


©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

EPSのガイドライン達成に向けたロードマップ

- EPSの2030年までのCAGR（一桁台後半～二桁）は、事業利益のCAGR（一桁台半ば～後半）を前提とする
- 事業利益の進捗に応じて機動的に自社株買いを実行することで、2030年までのEPS成長をコミットする

EPSの成長イメージ



◆事業利益の成長

⇒2024年～2030年までのCAGRで一桁台半ば～後半の成長を目指す

※日本・東アジアの事業利益は、2027年に2024年を上回る水準に回復見込み

- 成長戦略の推進（プレミアム戦略、BAC・グローバルブランドの拡大）
- 収益構造改革の加速（AGPROによる調達機能強化・各RHQの効率化）
- 東アフリカ事業（EABL社）の買収効果（2026年下半期以降上乗せ）

◆ 自社株買い効果（株主還元の充実）

⇒財務健全性の確保を前提とした機動的な自社株買いにより
EPSのCAGR（一桁台後半～二桁）を達成する

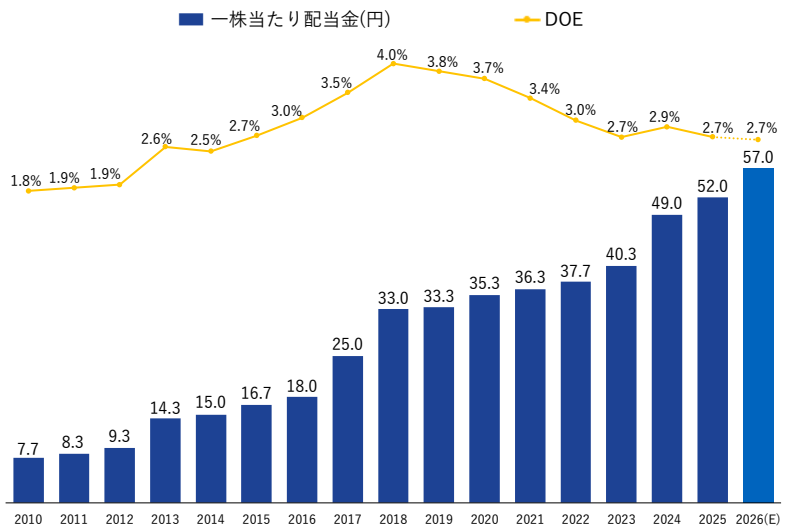
※CUB買収時の公募株数（約15,000万株）は2028年までに取得予定

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

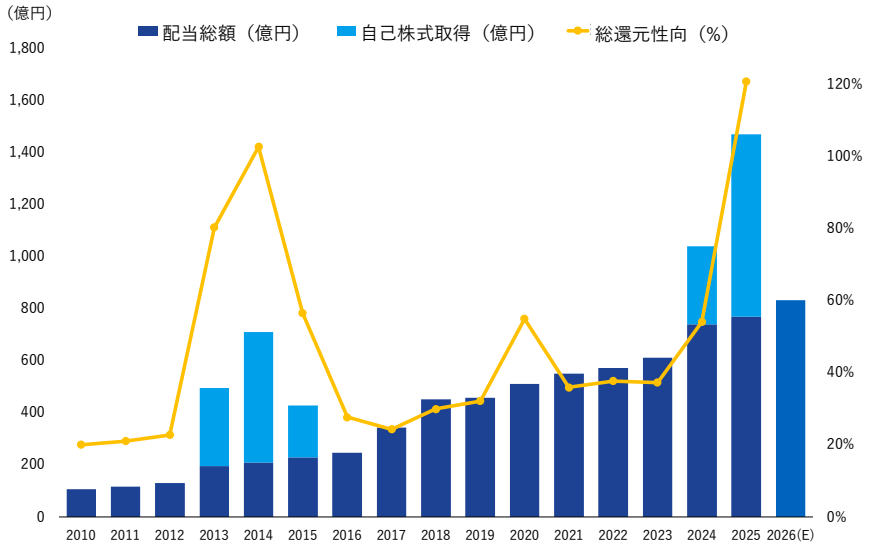
株主還元の推移と方針

- これまでも継続的な増配を行っており、財務の柔軟性が高まったことを踏まえ自社株買いを再開する
- DOE４％以上を目指した累進配当と機動的な自社株買いにより、EPSやROEのガイドラインの達成を補完する

一株当たり配当金とDOE



株主還元



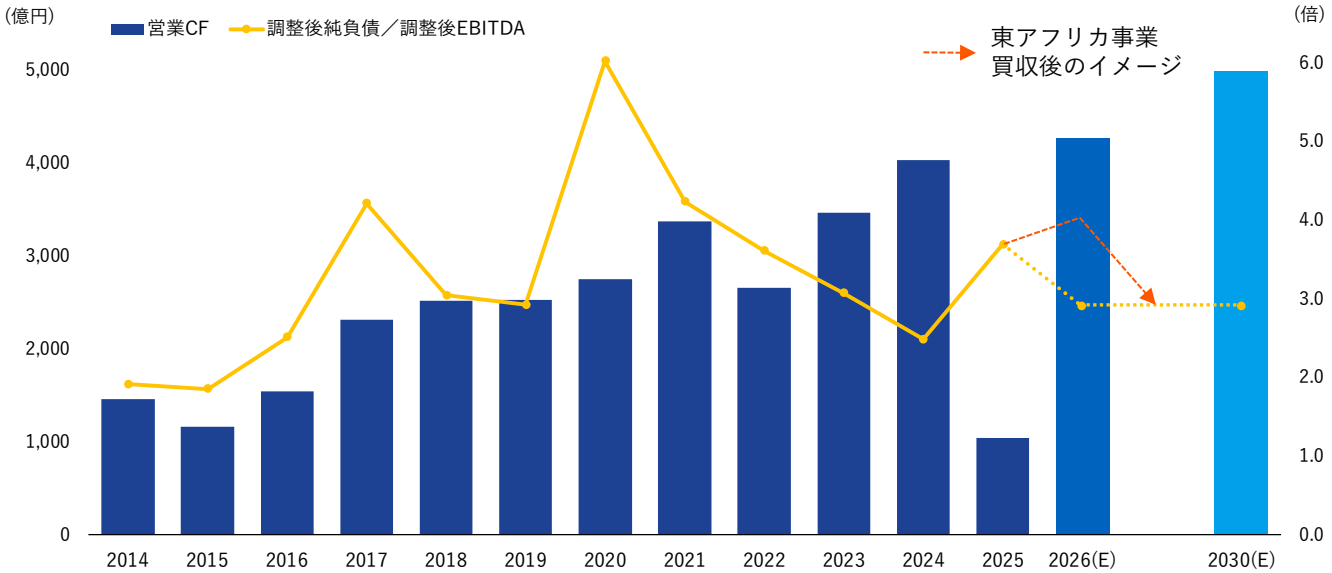
※2017年以降のEPSは調整後EPSを使用　※2015年までの会計基準は日本基準、2016年以降はIFRS基準
※2024年10月1日を効力発生日とする株式分割（1株につき3株の割合）を考慮し、当該効力発生日以前の1株当たりの配当金を調整のうえ、参考値として掲載

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

営業CFと財務健全性の推移

- 営業CFは、2025年には一時的に減少したが、2030年には5,000億円以上の創出を目指す
- 東アフリカ事業買収後には、2026年のNet Debt/EBITDAは４倍近くになるが、１～２年で３倍程度に回復見込み

営業CFとNet Debt/EBITDA



©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

プレミアム戦略の進展

- 未曾有のコストアップに対応し、プライスリーダーとして適切な価格改定を主導
- プレミアムカテゴリーの構成比拡大、グローバルブランドの拡大展開、容器・チャネルミックスの改善

＜RHQによるプレミアム化の主な成果＞

グループ全体

単価上昇率

＋26%

（2025年/2021年比）

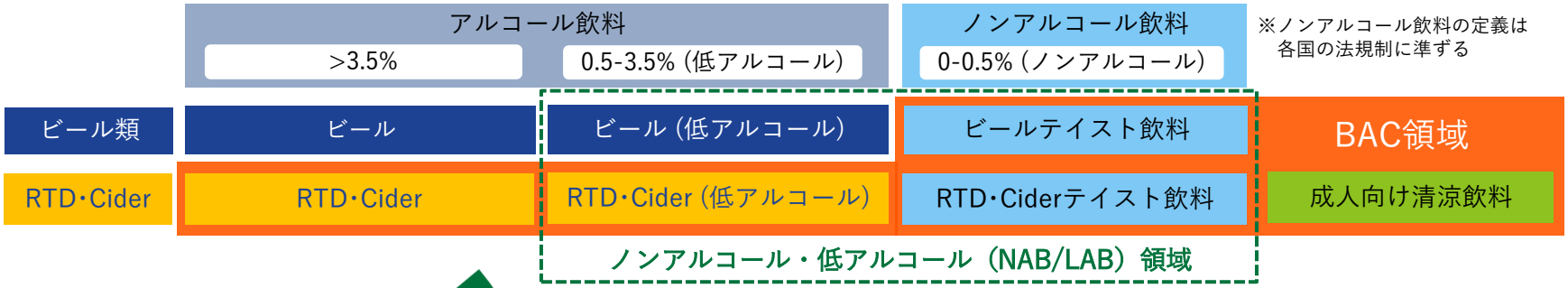
※主にビール類＋ビールテイスト飲料の合計
日本・東アジア：日本対象
欧州：事業合計
アジアパシフィック：オセアニア対象

日本・東アジア	単価上昇率 **＋23%**（2025年/2021年比）	・コストアップに対する柔軟な価格戦略を実行 ・ビール類に占めるビール数量構成比を拡大 （ビール構成比：2021年56%→2025年71%）
欧州	単価上昇率 **＋34%**（2025年/2021年比）	・PRGM※によりCPIを上回る単価向上を実現 ・プレミアムカテゴリーの数量構成比を着実に拡大 （プレミアム構成比：2021年36%→2025年40%） ※PRGM：Profitable Revenue Growth Management
アジアパシフィック	単価上昇率 **＋9%**（2025年/2021年比）	・酒税改正に合わせた適切な価格改定を実行 ・高単価ブランドの成長と次世代ブランドの育成 （Asahi Super Dry：2025年/2021年比 +26%） （コンテンポラリー※構成比：2021年51%→2025年57%）

※コンテンポラリー・ビール：苦味などを抑えた飲みやすいビール

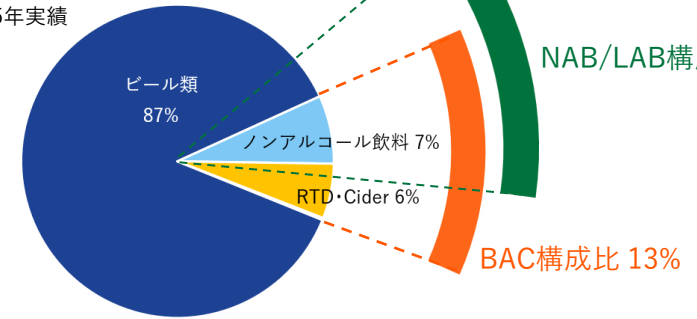
BAC・NAB/LABの対象領域

- BAC (Beer Adjacent Categories)：目指す事業ポートフォリオの実現に向けて成長を目指す領域
- NAB/LAB (Non-Alcohol Beverages, Low-Alcohol Beverages)：責任ある飲酒の推進に向けて成長を目指す領域

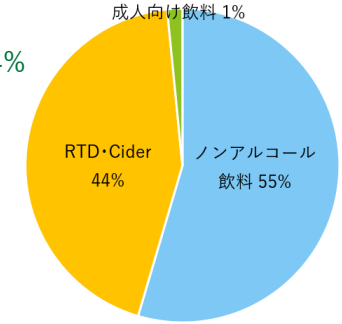


＜カテゴリー数量構成比＞

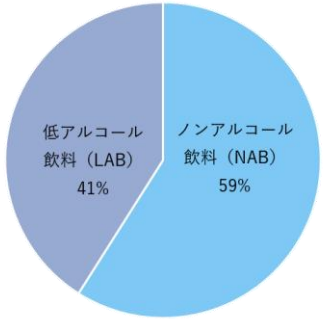
※2025年実績



＜BAC内数量構成比＞



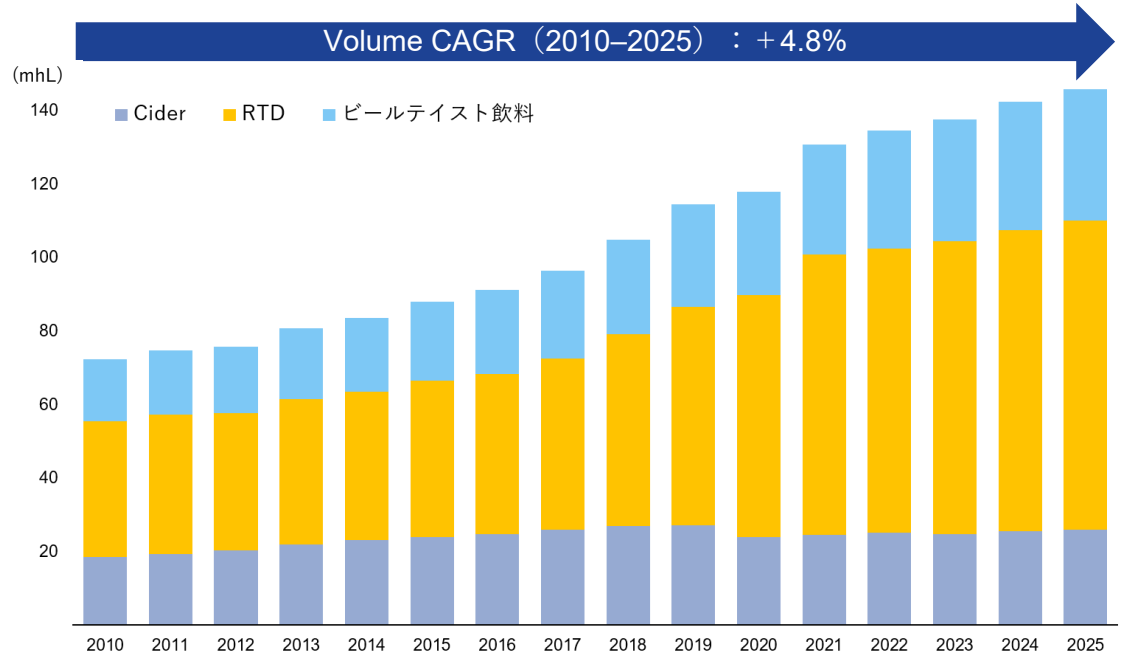
＜NAB/LAB内数量構成比＞



©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

BACグローバル市場の推移

- BAC市場は、飲用スタイルの多様化や各カテゴリーの浸透により、今後も安定的な数量成長が予想される
- 先進国を中心としたプレミアム化の進展などにより、より高いバリュー成長や収益性の向上が見込まれる



※出典：GlobalData（2026年6月時点）, 成人向け清涼飲料などを除く

＜ビールテイスト飲料＞

- 2010年以降、CAGR 約5%で安定的に成長し、持続的な需要拡大が継続

＜RTD＞

- 2010年台から市場が本格的に拡大し、特に2015年以降はCAGR7-8%で成長

＜Cider＞

- 2010年以降、CAGR2%の安定成長

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

BAC拡大に向けた取り組み

➢ RHQの基盤を活用した価値提案、新需要創出と市場拡大に向けたイノベーションの強化

日本・東アジア

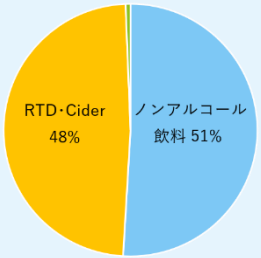
スマートドリンキングの推進

ビールテイスト飲料：市場シェア1位※

RTD：単価上昇率+32%（2025年/2021年比）

＜数量構成比＞

※出典：インテージSRI+　ノンアルコール飲料ビールテイスト市場　推計販売規模(金額)構成比
2025年1月~2025年12月　7業態（SM/CVS/酒DS/HC/DRUG/一般酒販店/業務用酒販店）



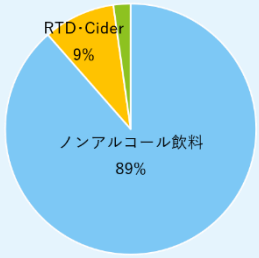
欧州

ビールテイスト飲料を拡大

ビールテイスト飲料：市場シェア1位※
（チェコ・ポーランド・ルーマニア）

＜数量構成比＞

※出典：Nielsen



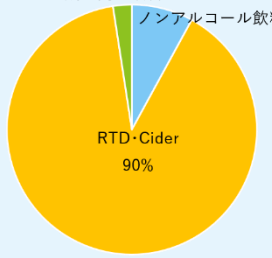
アジアパシフィック

RTDの価値提案を強化

RTD：豪州市場シェア１位※

※出典：Circana Australia Liquor Weighted data Dec 2025

＜数量構成比＞



※ 2025年実績

カテゴリー・ブランドの展開

Global Brands
グローバルブランドの
エクステンション活用

New “Asahi” brand
“Asahi”ブランドの
展開強化

Existing RTD
日本・豪州のRTD
ブランド・技術の活用

研究開発・投資

R＆D
R&D機能を活用した
新価値提案

AGBI※投資
高成長を見込む
新領域への投資

※AGBI：米国サンフランシスコに設けた投資運用会社
Asahi Group Beverages & Innovation, LLC

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

グローバルブランドの拡大展開

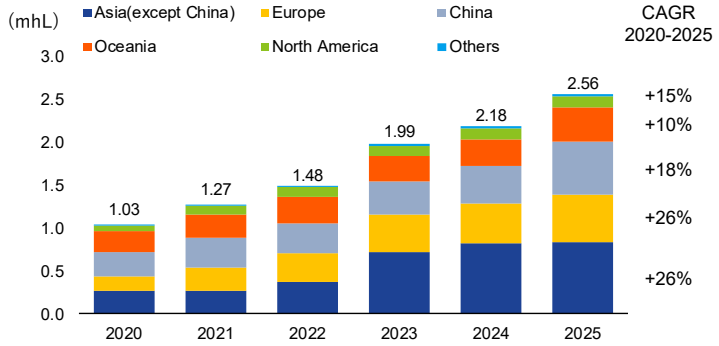
➢ スポンサーシップ活用およびエクステンション商品活用によるグローバルブランドの拡大・プレミアム戦略の加速

● Asahi Super Dry（ASD）

＜主要施策＞
- ASD 0.0や生ジョッキ缶のエリア拡大
- ラグビーワールドカップとの提携
- City Football Groupとの提携

＜ASDの数量推移＞ ※母国市場を除くベース

2020-2025 CAGR ＋20%

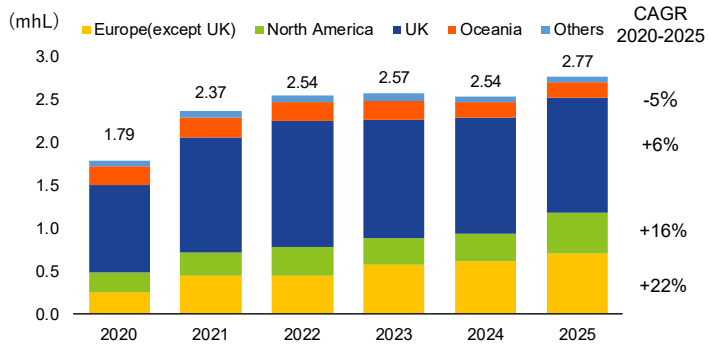


● Peroni Nastro Azzurro（PNA）

＜主要施策＞
- Scuderia Ferrariとの提携
- PNA0.0%のフレーバー商品発売
（PNA0.0% 2022-2025 CAGR＋60%）

＜PNAの数量推移＞ ※母国市場を除くベース

2020-2025 CAGR ＋9%



©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

＜再掲＞東アフリカ事業の買収目的と概要

● 取得目的・意義

・人口増加と経済拡大により成長が見込まれる東アフリカ市場での強固なプラットフォームの獲得
・豊富なブランド群、強いマーケティング力や商品開発力による高い成長ポテンシャルと安定した収益性
・アサヒグループとEABL社※1が培ってきたブランドや人材などの強みを融合した事業ポートフォリオ戦略の推進

● 買収事業の概要

買収対象	・Diageo Kenya社の株式100%とUDVK社※2の株式53.68%※3の取得について同社と合意 ・Diageo社が保有するケニア、ウガンダ、タンザニアのビール・スピリッツ・RTD事業を統括するEABL社の株式の65.00%を間接的に取得 ・対象事業におけるDiageo社ブランドを販売継続する長期ライセンス供与を受ける予定
製造拠点	・10拠点（ケニアのマイクロブルワリー１拠点含む）
買収額	・取得金額：30億USドル（約4,654億円※4）※株式価値ベース ・EV/EBITDAマルチプル：約17倍（2025年6月期ベース）
クロージング	・2026 年下半期（予定）

※1 East African Breweries PLC　※2 UDV (Kenya) Limited　※3（持分比率）残りの46.32%はEABL社が保有
※4（為替換算） 1ドル＝155.12 円で換算（2025年12 月 16 日時点）

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

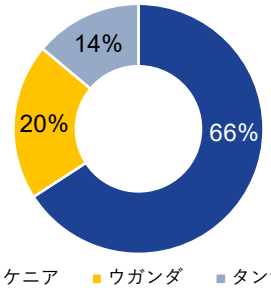
＜再掲＞EABL社の業績概況

● EABL社の業績推移

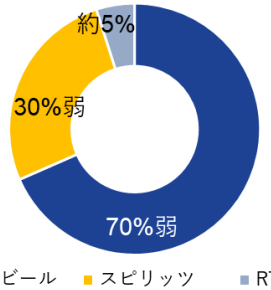
単位：百万KES	2023年 6月期実績	2024年 6月期実績	2025年 6月期実績
純売上高	109,649 (1,317 億円)	124,131 (1,490 億円)	128,791 (1,546 億円)
営業利益 (EBIT)	24,194 (291 億円)	24,898 (299 億円)	25,171 (302 億円)
EBITDA	31,287 (376 億円)	33,098 (397 億円)	33,336 (400 億円)

※ケニア・シリング＝1.20 円で換算（2025年12 月 16 日時点）

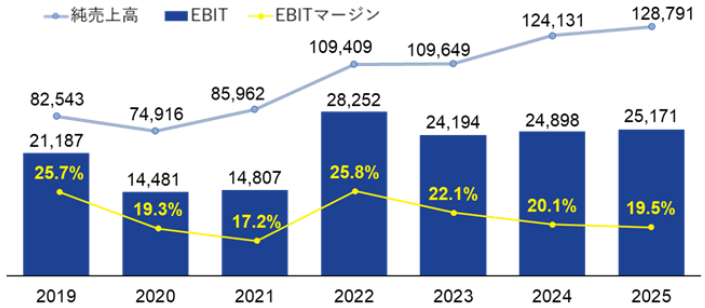
＜国別売上構成比(2025)＞



＜カテゴリー別売上構成比(2025)＞



＜業績推移＞



※出典：EABL Annual Report

- 高い消費需要や豊富な商品ポートフォリオにより
  純売上高は安定的な成長を実現
- コロナ禍やコストインフレの影響を受けるが
  トップライン成長などにより高い利益創出力を維持
- 2026年上期業績は好調に進捗
  販売数量：+8%、純売上高：＋11%、EBIT：＋20%

※EABL社は6月期決算のため2025年7-12月（前年同期比）ベース

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

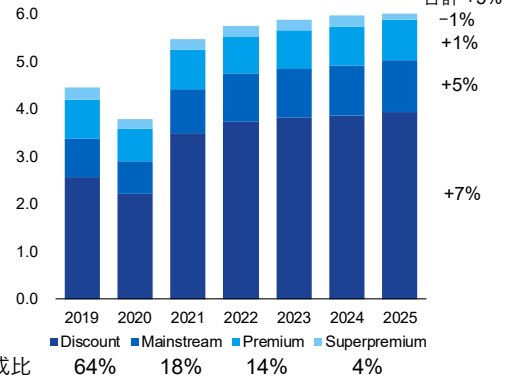
＜再掲＞ビール市場概況と主要ブランド

※ビール市場推移の2025年のデータを追加

ビール市場推移（mhL）

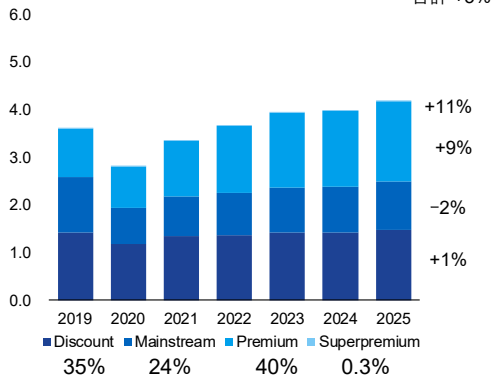
※出典：GlobalData（2026年6月時点）

ケニア



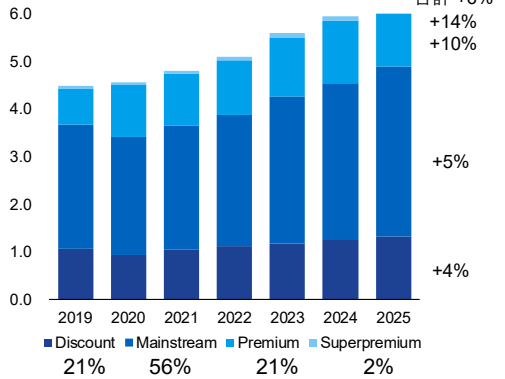
構成比 64% 18% 14% 4%

ウガンダ



構成比 35% 24% 40% 0.3%

タンザニア



構成比 21% 56% 21% 2%

当社主要ブランド

WHITE CAP (Premium)

TUSKER (Mainstream)

SENATOR (Discount)

TUSKER LITE (Premium)

BELL (Mainstream)

SERENGETI LITE (Premium)

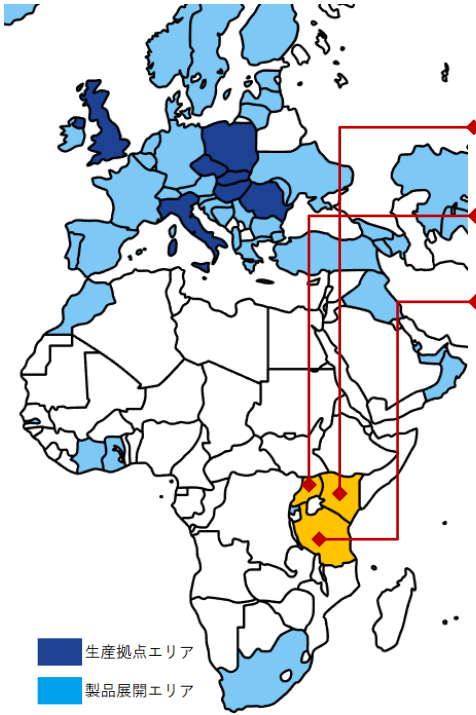
SERENGETI (Mainstream)

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

＜再掲＞各国の市場概況

※ビール市場規模、1人当たり消費量を2025年に更新

● 対象国の市場概況



国名	ビール市場規模 (2025)	1人当たり消費量 (2025)	人口 (年齢中央値) (2025)	合計特殊出生率 (2025)	実質GDP平均成長率 (2026-2030)	インフレ率 (2026-2030)
ケニア	6.1mhl	10.6L	5,750万人 (21歳)	3.2人	+5.0%	+5.0%
ウガンダ	4.2mhl	8.2L	5,140万人 (18歳)	4.1人	+7.1%	+4.8%
タンザニア	6.4mhl	9.0L	7,050万人 (19歳)	4.6人	+6.4%	+3.9%

（参考）主要国の市場概況

日本	48.8mhl	39.7L	12,310万人 (51歳)	1.2人	+0.6%	+2.0%
豪州	17.1mhl	63.6L	2,700万人 (39歳)	1.5人	+2.2%	+2.6%
チェコ	15.3mhl	143.8L	1,060万人 (45歳)	1.5人	+2.0%	+2.2%

※出典：GlobalData（2026年6月時点）、PopulationPyramid.net（UN World Population Prospects 2025 推計）
IMF World Economic Outlook（2025–2026）、1人当たり消費量は「ビール市場規模÷人口」で当社算出

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

グループ全体の収益構造改革

- 2024年より開始したAGPRO (Asahi Global Procurement)主導のグローバル調達の効率化は計画を上回る進捗
- 2025年より各RHQにおいてマージン向上に向けた収益構造改革を推進

		2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	累計目標額
AGPRO グローバル調達	計画	【5ヵ年計画】 コストダウン+コストアップ抑制効果※　年平均USD 100M以上 ※コストアボイダンス・バリューイネーブラー					約700億円以上
	実績	コストダウン USD100M以上	コストダウン USD100M以上				
		別途コストアップ抑制効果を創出					
各RHQ 収益構造改革	計画		【3ヵ年計画】 日本・東アジア：100億円程度 欧州：EUR 100M以上、APAC：AUD 70M以上				約300億円以上
	実績		3RHQ計 150億円以上				
2028年までの目標値合計							約1,000億円以上

※日本円ベースの計画値は2025年為替レートを使用して試算。

プレミアム戦略の進捗

● ビール類＋ビールテイスト飲料カテゴリー2025年実績 （前年比）

	日本・東アジア	欧州	アジアパシフィック	3地域計
単価上昇率（酒税抜き）	**＋6.6%**	**＋1.4%**	**＋1.0%**	**＋2.9%**
売上収益	△0.9%	△2.4%	＋0.1%	△1.4%
販売数量	△7.0%	△3.8%	△0.9%	△4.2%

※「日本・東アジア」は日本、「アジアパシフィック」はオセアニアのカテゴリー実績

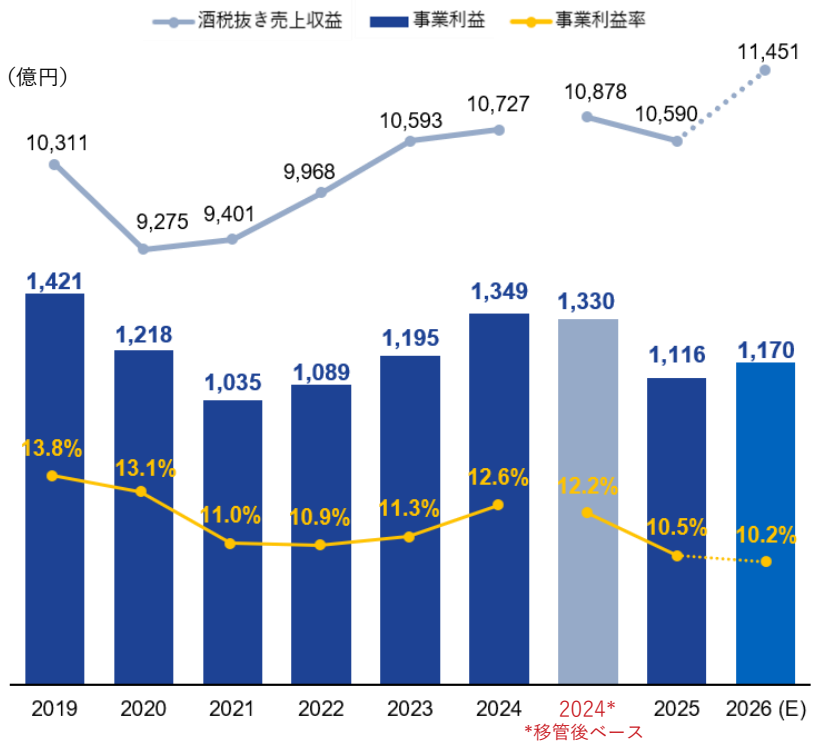
グローバルブランド（数量前年比）	＜Asahi Super Dry＞	＜Peroni Nastro Azzurro＞	BAC（数量前年比）	＜3地域計＞
	＋15%	**＋6%**		**△4%**

※母国市場を除く販売数量ベース

※Beer Adjacent Categories：ノンアルコール飲料、RTD、成人向け清涼飲料など、ビール隣接カテゴリー

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

日本・東アジア：業績推移と今後の方針



＜業績推移＞

- コロナ禍や大幅なコストアップの影響を受けたものの、柔軟な価格改定やビール構成比向上などプレミアム化の進展により、事業利益や利益率は2021年をボトムに回復傾向となる
- 但し、2025年は９月のサイバー攻撃に伴うシステム障害により業績が大幅に悪化

＜今後の方針＞

- 2026年は、システム障害からの復興にあたり、広告販促費等の一時費用や情報セキュリティ強化の費用が発生するが、増収・増益を果たすとともに、来期以降の収益基盤を強化する
- 2027年には2024年を上回る利益水準を達成し、成長軌道への回帰を図る

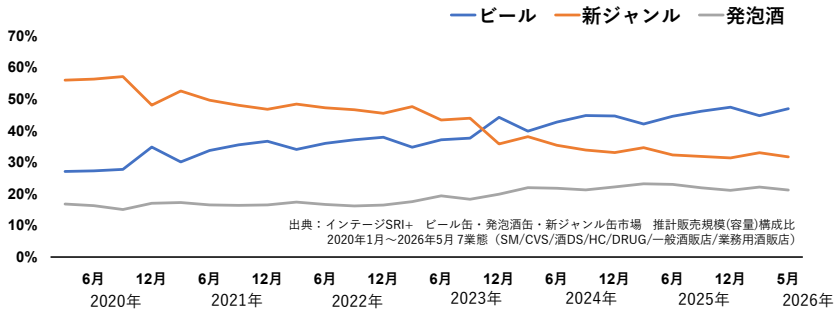
※2019年は現在の日本事業計に組み替えた概算値、2020年は「酒類」「飲料」「食品」の単純合算値
※2025年4月よりRHQ体制変更。「欧州」に含まれていた東アジア酒類事業が「日本」に移管され、「日本・東アジア」に名称変更

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

日本（酒類）：主要トピックス

● 継続するビール回帰の流れ

＜ビール類缶市場 カテゴリー別構成比＞



● 酒税改正に向けたビールカテゴリーの強化

＜SDブランド群の刷新＞

- 酒税改正に向けてSDブランド群を一斉に刷新
「冷え」の価値の最大化を図る

＜ポートフォリオ拡充＞

● BACカテゴリーの強化

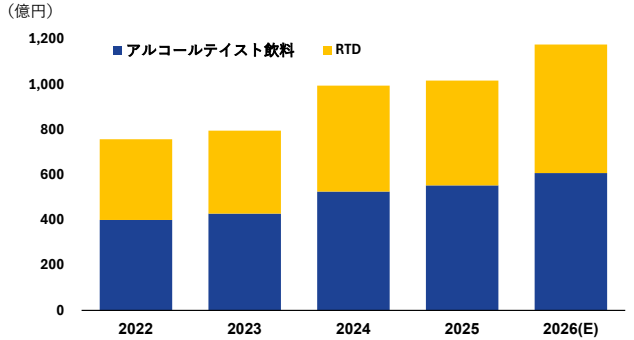
・高付加価値商品を核に、持続的な成長と収益性の向上を図る

「未来のレモンサワー」
-25年9月 全国発売

「未来のノンアル
レモンサワー」
-26年5月 発売

「アサヒゼロ」
-24年4月 全国発売
-26年3月『エールテイスト』発売

＜当社RTD+アルコールテイスト飲料の成長＞



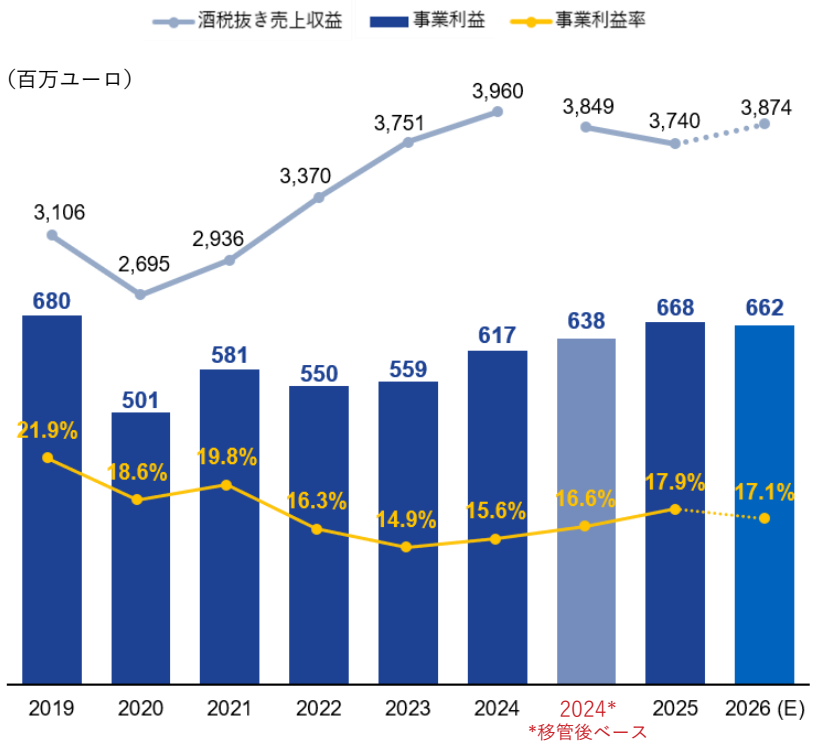
2026年計画
売上金額

RTD
+22%

アルコール
テイスト飲料
+10%

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

欧州：業績推移と今後の方針



＜業績推移＞

- ３RHQの中で最大規模のコストアップとなる中、 2022年以降、グローバルブランドなどへの投資は継続しつつ、大幅な価格改定と効率化により増益基調を継続
- コストプッシュ型の価格改定影響が大きく利益率は低迷

＜今後の方針＞

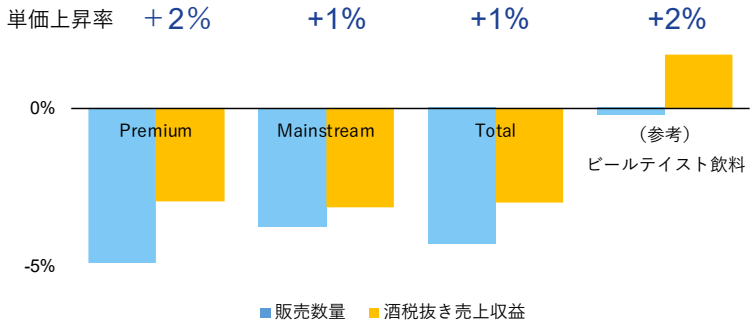
- 2026年は、各国の競争力強化と単価上昇に加え、グローバルブランド、BACの更なる成長に向けた戦略投資により、今後の成長モメンタムを高める
- 2030年には事業利益率20%の水準への回復を目指し、プレミアム戦略と収益構造改革を推進する
- 東アフリカ事業を加えたグローバルな成長基盤を強化する

※2019年、2020年は欧州2事業の統合前の概算値
※2025年4月よりRHQ体制変更。東アジア酒類事業は「日本・東アジア」へ、東南・南アジア酒類事業は「アジアパシフィック」へ移管

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

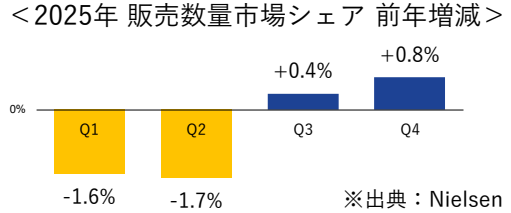
＜再掲＞欧州：主要トピックス

● 当社のカテゴリー別成長率 （2025年）



● ポーランドの回復に向けた対応

・下期以降のシェアは回復傾向、本年も投資を継続



● 新たな成長獲得に向けた取り組み

USA and EMEA - NON-DOMESTIC markets

・販路拡大により新たな成長を獲得する

USA　：Asahi Super Dry
2020-2025年 CAGR ＋15%程度

EMEA： Peroni Nastro Azzurro 0.0%
2022-2025年 CAGR ＋60%程度
Asahi Super Dry
2020-2025年 CAGR ＋20%程度

※2022年に『Peroni Libera 0.0%』から『Peroni Nastro Azzurro 0.0%』へリニューアル

● マージン向上に向けた収益構造改革

2027年までの効率化効果：EUR 100M以上

（2029年までの効率化効果：EUR 150M以上）

＜2025年の主な施策＞

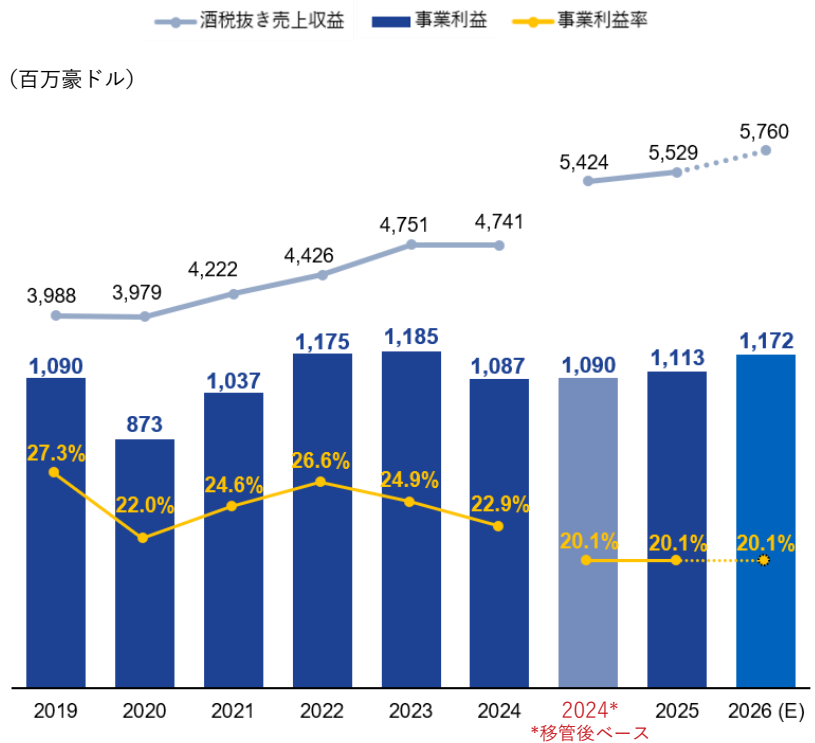
-バリューエンジニアリングの推進

-組織および人員配置の最適化

-デジタル関連コストの見直し　など

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

アジアパシフィック：業績推移と今後の方針



＜業績推移＞

- コロナ禍の影響は受けたものの、コンテンポラリー・ビールやRTDを拡大し、大幅なコストアップも単価向上と収益構造改革で 打ち返すことで業績を拡大
- 事業利益率は、2023年以降はインフレに伴う市場環境悪化などにより低下傾向

＜今後の方針＞

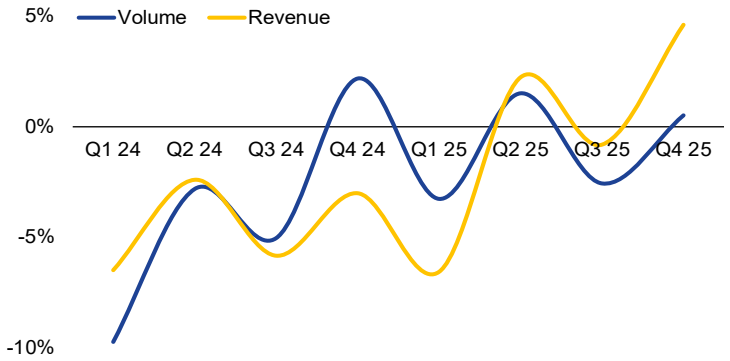
- 2026年は、成長カテゴリーの強化を継続するとともに、単価向上施策や収益構造改革などにより、増収・増益を果たす
- マルチビバレッジ戦略や収益構造改革の継続に加えて、東南・南アジアの成長機会も取り込むことで、一桁台半ば以上の利益成長を目指す

※売上収益はコンテナデポジット（保証金）除くベース、2019年・2020年は買収前の豪州CUBの業績を加えたプロフォーマベース
※2025年4月よりRHQ体制変更。「東南アジア（飲料）」と、「欧州」に含まれていた東南・南アジア事業（酒類）が「オセアニア」に移管され、「アジアパシフィック」に名称変更

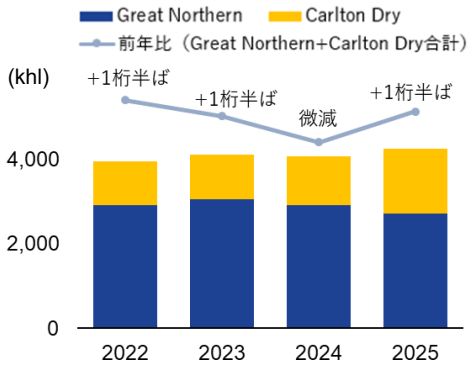
©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

＜再掲＞アジアパシフィック：主要トピックス

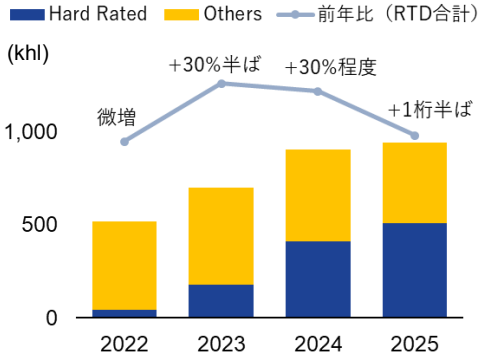
● 当社のビール推移（豪州）



● コンテンポラリー・ビールの取り組み



● RTD「Hard Rated」の取り組み



『Hard Rated Alcoholic Orange』

● マージン向上に向けた収益構造改革

2027年までの効率化効果：AUD 70M以上

＜2025年の主な施策＞

- 主要拠点への新缶列導入によるサプライチェーンの効率化と増強
- 組織再編による資源配分の最適化と効率化
- 固定費全般の効率化

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

サステナビリティ活動に対する外部評価

● 外部評価機関からの選定（2026年6月時点）

＜FTSE＞

- FTSE4Goodへの継続組み入れ

FTSE4Good

FTSE JPX Blossom Japan Index

FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index

＜MSCI＞

- MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数
- MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)

＜Sustainalytics＞

- Industry ESG Leaderとして初めて認定

● 主な評価状況

＜ESGに関する評価＞

	2025年 実績
CDP （A～D⁻の8段階評価）	気候変動Aリスト(8年連続) 水セキュリティAリスト(2年連続)
FTSE （0～5の5点満点評価）	4.8
MSCI ESG Rating （AAA～CCCの7段階評価）	AA
Sustainalytics （0以上のスコア評価、数値が小さいほどESGリスクが低い）	18.7
CHRB （0～100の100点満点評価）	73.4

＜ダイバーシティ推進・従業員の健康管理に関する評価＞

- 「健康経営優良法人認定制度」の認定（2026年3月）

2026 健康経営優良法人 KENKO Investment for Health 大規模法人部門 ホワイト500

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

2025年実績・2026年予想の概要

決算ハイライト（売上収益・事業利益）

※ 2025年実績の予想比は、2025年8月に開示した2025年修正計画との比較
※ 2026年予想には、中東情勢の影響と東アフリカ事業買収の影響は含まず

（億円）	2025年実績	（為替一定）増減	前年比(%)	予想比	2026年予想	（為替一定）増減	前年比(%)
日本・東アジア	13,272	△ 509	△ 3.7%	△ 965	14,228	956	7.2%
欧州	7,682	△ 194	△ 2.5%	△ 141	8,731	484	6.3%
アジアパシフィック	7,832	292	3.7%	△ 49	9,144	190	2.4%
その他	267	12	4.5%	2	279	22	8.3%
調整額（全社・消去）	△ 106	2	-	59	△ 182	△ 76	-
売　上　収　益	**28,947**	**△ 397**	**△ 1.4%**	**△ 1,094**	**32,200**	**1,576**	**5.4%**
日本・東アジア	1,116	△ 214	△ 16.1%	△ 288	1,170	54	4.8%
欧州	1,131	38	3.6%	4	1,218	11	1.0%
アジアパシフィック	1,075	24	2.2%	△ 1	1,289	57	5.3%
その他事業	42	2	4.7%	1	19	△ 20	△ 48.8%
調整額（全社・消去）	△ 331	△ 67	-	△ 52	△ 348	△ 17	-
無形資産償却費	△ 403	△ 4	-	△ 5	△ 439	2	-
事　業　利　益	**2,630**	**△ 222**	**△ 7.8%**	**△ 340**	**2,910**	**85**	**3.2%**

＜2025年実績＞

- 売上収益は、アジアパシフィックは増収だが、システム障害影響を受けた日本・東アジアと販売数量が減少した欧州が減収となり、トータルで前年比△1.4%
- 事業利益は、欧州とアジアパシフィックは増益だが、日本・東アジアが減収影響により大幅減益となり、トータルで前年比△7.8%

＜2026年予想＞

- 売上収益は、日本・東アジアでの売上回復や、各地域での売上単価の向上などにより、トータルで前年比＋5.4%
- 事業利益は、システム障害からの回復に向けた一時費用や変動費などのコストアップを見込むが、ミックス改善や効率化などにより、トータルで前年比＋3.2%

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

営業利益・親会社の所有者に帰属する当期利益

（億円）	2025年実績	（為替影響込み） 増減	前年比(%)	予想比	2026年予想	（為替影響込み） 増減	前年比(%)
売　上　収　益	**28,947**	**△ 447**	**△ 1.5%**	**△ 553**	**32,200**	**3,253**	**11.2%**
事　業　利　益	**2,630**	**△ 221**	**△ 7.8%**	**△ 270**	**2,910**	**280**	**10.6%**
事業利益からの調整項目	△ 771	△ 611	-	△ 421	60	831	-
固定資産除売却損益	△ 41	△ 195	-	-	-	-	-
事業統合関連費用	△ 151	73	-	-	-	-	-
減損損失	△ 276	△ 208	-	-	-	-	-
その他	△ 303	△ 281	-	-	-	-	-
営　業　利　益	**1,859**	**△ 832**	**△ 30.9%**	**△ 691**	**2,970**	**1,111**	**59.8%**
金融収支	△ 137	△ 28	-	32	△ 267	△ 130	-
持分法投資損益	0	△ 5	△ 99.9%	1	11	11	-
その他	71	△ 12	△ 14.3%	31	26	△ 45	△ 63.9%
税引前当期利益	**1,793**	**△ 877**	**△ 32.9%**	**△ 627**	**2,740**	**947**	**52.8%**
法人所得税費用	△ 565	173	-	165	△ 784	△ 219	-
当期利益	**1,228**	**△ 704**	**△ 36.4%**	**△ 462**	**1,956**	**728**	**59.3%**
親会社の所有者に帰属する当期利益	**1,216**	**△ 705**	**△ 36.7%**	**△ 459**	**1,940**	**724**	**59.6%**
非支配持分に帰属する当期利益	**12**	**1**	**8.4%**	**△ 3**	**16**	**4**	**33.6%**
調整後親会社の所有者に帰属する当期利益 ※1	**1,470**	**△ 359**	**△ 19.6%**	**△ 305**	**1,680**	**210**	**14.3%**

※親会社の所有者に帰属する当期利益から事業ポートフォリオ再構築及び減損損失など一時的な特殊要因を控除したもの。

＜2025年実績＞

- 営業利益は、事業利益の減益に加えて、前年の固定資産売却益の反動やセグメント変更などによる減損損失、システム障害関連費用など「その他」費用の増加により、前年比△30.9%
- 親会社の所有者に帰属する当期利益は前年比△36.7%、減損損失による一時影響を除いた調整後親会社の所有者に帰属する当期利益は前年比△19.6%

＜2026年予想＞

- 営業利益は、事業利益の増益に加え、前年の各種一時費用発生の反動もあり、前年比＋59.8%
- 親会社の所有者に帰属する当期利益は、金融収支は悪化するが営業利益の増益により、前年比＋59.6%

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

＜参考＞システム障害影響の概算

（億円）	2025年 実績	増減	前年比(%)	予想比	2026年 予想	増減	前年比(%)
売　上　収　益	**28,947**	**△ 397**	**△ 1.4%**	**△ 1,094**	**32,200**	**1,576**	**5.4%**
日本・東アジア	13,272	△ 509	△ 3.7%	△ 965	14,228	956	7.2%
	Q3単体：前年比△約50億円 Q4単体：前年比△約2割				Q1単体：前年比△約1割 Q2以降：若干の影響が継続		
事　業　利　益	**2,630**	**△ 222**	**△ 7.8%**	**△ 340**	**2,910**	**85**	**3.2%**
日本・東アジア	1,116	△ 214	△ 16.1%	△ 288	1,170	54	4.8%
	・売上減少に伴う限界利益減 ・広告販促費は一部抑制				・売上減少に伴う限界利益減 ・広告販促費等△60億円程度（一時費用） ・情報セキュリティ費用△35億円程度		
営　業　利　益	**1,859**	**△ 832**	**△ 30.9%**	**△ 691**	**2,970**	**1,111**	**59.8%**
事業利益からの調整項目「その他」	△ 303	△ 281	-	-	-	-	-
	・棚卸資産廃棄減・評価損、システム復旧人件費、広告販促キャンセル費等 △170億円				・影響は軽微		

※売上収益及び事業利益は為替一定ベース、営業利益は為替影響込みベースで記載。影響額は概算値。

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

財政状態計算書・CF計算書・各種指標

（億円）	2025年 実績	増減	前期末比(%)	予想比	2026年 予想	増減	前期末比(%)
資　産　合　計	60,284	6,250	11.6%	5,914	60,370	86	0.1%
資　本　合　計	30,085	3,345	12.5%	4,445	32,470	2,385	7.9%
金　融　債　務　残　高 ※1	16,442	3,650	28.5%	2,412	13,700	△ 2,742	△ 16.7%
Net DEレシオ ※2	0.50	0.12	-	△ 0.02	0.41	△ 0.09	-
Net Debt / EBITDA（倍） ※2	3.70	1.21	-	0.59	2.91	△ 0.79	-
（参考） EBITDA	4,022	△ 168	△ 4.0%	△ 292	4,524	502	12.5%

※1 前期末比の増減内訳：金融債務の借入・返済額3,043億円、円安による外貨建て金融債務の為替換算等272億円など
※2 2024年実績は劣後債発行残高（3,000億円）の50%を、Net Debtから控除して算出。

営　業　活　動　CF	1,048	△ 2,989	-	△ 1,862	4,280	3,232	-
投　資　活　動　CF	△ 2,005	△ 818	-	125	△ 1,490	515	-
財　務　活　動　CF	1,259	3,987	-	2,280	△ 3,800	△ 5,059	-
フ　リ　ー　CF	△ 434	△ 3,495	-	△ 1,734	2,790	3,224	-

ＥＰＳ（円）	81.3	△ 45.4	-	△31.5	129.7	48.4	-
ＲＯＩＣ	6.1%	△ 0.8%	-	△ 0.8%	6.6%	0.5%	-
ＲＯＥ	4.3%	△ 3.2%	-	△ 2.1%	6.2%	1.9%	-
ＤＯＥ	2.7%	△ 0.2%	-	△ 0.3%	2.7%	0.0%	-
一株当たり配当金 （円）	52.0	3.0	-	-	57.0	5.0	-
配当性向	64.0%	25.3%	-	17.9%	43.9%	△ 20.1%	-

＜2025年実績＞

- BS：資産合計は、円安や新規買収によるのれんや無形資産の増加などにより、前期末比＋6,250億円
- BS：金融債務残高は、システム障害下で短期性資金を調達したことなどにより、前期末比3,650億円の増加
- CF・配当：FCFは、事業利益の減益、設備投資の増加に加え、システム障害による一時影響などにより、△434億円。年間配当は1株3円の増配

＜2026年予想＞

- BS：資産合計は、前期末比＋86億円
- BS：金融債務残高は、負債返済などにより前期末比2,742億円の減少を見込み、Net Debt／EBITDAは2.91倍に低下
- CF・配当：FCFは、設備投資は増加するが、営業CFの前年の一時影響の反動により増加し2,790億円を創出。年間配当は1株5円の増配

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

＜参考＞中東情勢の想定リスクと対応策

- 中東情勢に伴う2026年年間のコストアップリスクは100～150億円程度と想定
- 現時点で、各RHQにおいて2026年および来期以降の追加の対応策を検討、一部実行中
- コストアップの見通しと対応策の効果を精査し、必要に応じて業績予想に反映

想定リスク

- 未ヘッジのコモディティ価格の上昇
- 原材料の付帯コスト（加工賃・海上輸送費）の上昇
- ユーティリティコスト、物流費・倉庫費などの上昇
- プラスチック関連の原材料の調達リスク
- 長期化による、2027年以降の更なるコストアップ

主な対応策

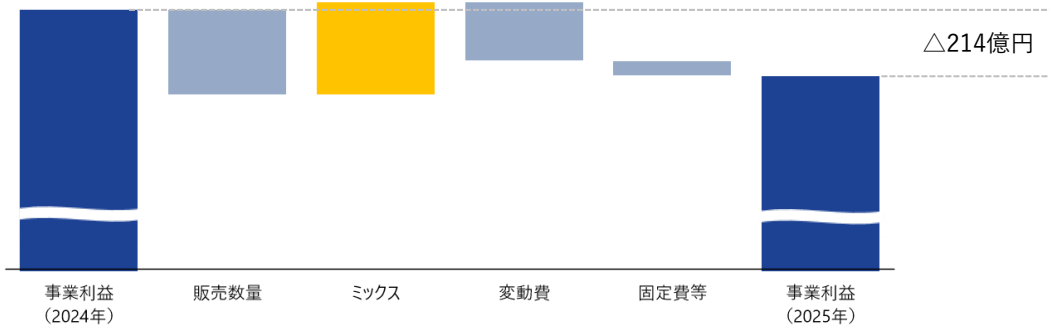
- 各地域の収益構造改革の加速による固定費効率化
- サプライチェーンにおける追加の効率化施策の展開
- 代替品への切り替え、製品仕様の変更
- 在庫確保の積み増し
- 一部コストの価格転嫁を含む、価格改定の検討

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

日本・東アジア

（億円）	2025年 実績	増減	前年比(%)	予想比	2026年 予想	増減	前年比(%)
売上収益	**13,272**	**△ 509**	**△ 3.7%**	**△ 965**	**14,228**	**956**	**7.2%**
事業利益	**1,116**	**△ 214**	**△ 16.1%**	**△ 288**	**1,170**	**54**	**4.8%**
日本事業別売上収益							
酒類事業	7,861	△ 288	△ 3.5%	△ 493	8,407	546	6.9%
飲料事業	3,634	△ 255	△ 6.6%	△ 411	3,887	253	7.0%
食品事業	1,436	90	6.7%	△ 64	1,600	164	11.4%

<利益増減要因：2025年実績>



＜2025年実績＞

- 売上収益は、買収効果を含む食品は増収だが、システム障害の影響により、酒類、飲料が減収となり、前年比△3.7%
- 事業利益は、価格改定効果などによりミックスは改善したが、販売数量の減少や変動費・固定費の増加により、前年比△16.1%

＜2026年予想＞

- 売上収益は、システム障害の影響からの回復に加え、各事業での価格改定効果を含む増収により前年比＋7.2%
- 事業利益は、変動費・固定費のコストアップを見込むが、販売数量の増加やミックス改善により前年比＋4.8%

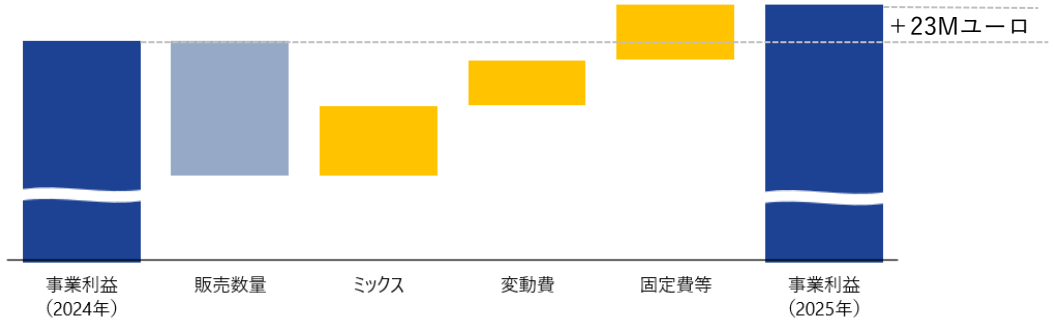
©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

欧州

（百万ユーロ）	2025年 実績	増減	前年比(%)	予想比	2026年 予想	増減	前年比(%)
売　上　収　益	4,540	△ 118	△ 2.5%	△ 86	4,745	286	6.3%
事　業　利　益	668	23	3.6%	2	662	6	1.0%
酒税抜き売上収益	3,740	△ 116	△ 3.0%	△ 60	3,874	199	5.3%

※以下の要因により、2025年通期実績における増減、前年比および予想比には差異が生じる
・現地通貨をユーロ換算する際の前提となる為替レートが異なる
・前年比は前年レート比較、予想比は予想レート比較により、為替影響を除いて算出

<利益増減要因：2025年実績>



<2025年実績>

- 売上収益は、中東欧における最盛期の天候不順の影響に加え、消費需要が弱含んだポーランドなどが前年を下回り、 前年比△2.5%
- 事業利益は、販売数量は減少したが、ミックスの改善や変動費・固定費の効率化により、前年比+3.6%

<2026年予想>

- 売上収益は、各国の単価向上に加え、ビールテイスト飲料やグローバルブランドの拡大により、前年比+6.3%
- 事業利益は、投資の強化に加え、変動費・固定費のコストアップを見込むが、ミックス改善などにより、前年比+1.0%

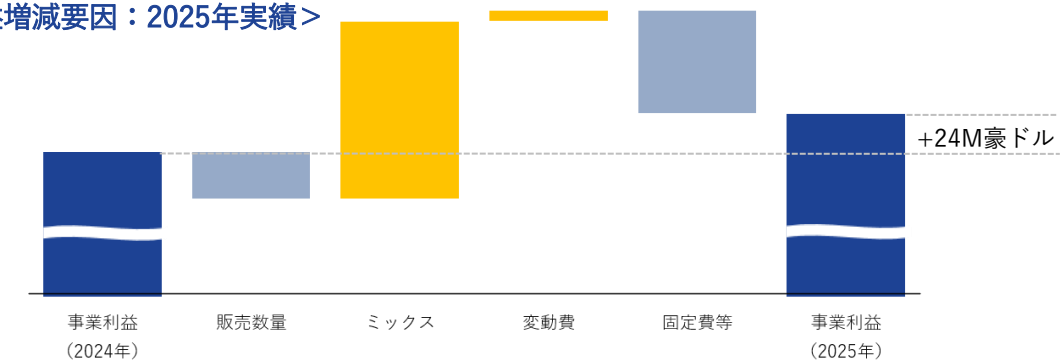
©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

アジアパシフィック

（百万豪ドル）	2025年 実績	増減	前年比(%)	予想比	2026年 予想	増減	前年比(%)
売　上　収　益	8,116	292	3.7%	△ 52	8,313	197	2.4%
事　業　利　益	1,113	24	2.2%	△ 1	1,172	59	5.3%
酒税抜き売上収益	5,529	105	1.9%	△ 140	5,760	231	4.2%
オセアニア合計	4,810	69	1.4%	△ 120	5,010	201	4.2%
（酒類）	3,148	16	0.5%	△ 72	3,276	129	4.1%
（飲料）	1,662	53	3.3%	△ 47	1,734	72	4.3%

※酒税抜き売上収益は、豪州とNZにおけおるコンテナデポジット（保証金）を除く

<利益増減要因：2025年実績>



<2025年実績>

- 売上収益は、オセアニア、東南・南アジアともに増収となり、前年比+3.7%
- 事業利益は、固定費は増加したが、酒類・飲料それぞれのミックス改善や変動費コストの抑制などにより、前年比+2.2%

<2026年予想>

- 売上収益は、オセアニアと東南・南アジアにおける成長モメンタムの継続により、前年比+2.4%
- 事業利益は、固定費などのコストアップを見込むが、APAC全体における収益構造改革の推進などにより、前年比+5.3%

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

参考資料

為替影響（2025年実績）

（億円）	2025年 実績	前年	（為替影響込み） 増減	（為替影響込み） 前年比(%)	為替影響	（為替一定） 増減	（為替一定） 前年比(%)
日本・東アジア	13,272	13,781	△ 509	△ 3.7%	-	△ 509	△ 3.7%
欧州	7,682	7,628	54	0.7%	248	△ 194	△ 2.5%
アジアパシフィック	7,832	7,828	4	0.1%	△ 288	292	3.7%
その他	267	265	2	0.7%	△ 10	12	4.5%
調整額（全社・消去）	△ 106	△ 107	2	-	△ 0	2	-
売　上　収　益	**28,947**	**29,394**	**△ 447**	**△ 1.5%**	**△ 51**	**△ 397**	**△ 1.4%**
日本・東アジア	1,116	1,330	△ 214	△ 16.1%	-	△ 214	△ 16.1%
欧州	1,131	1,046	84	8.1%	47	38	3.6%
アジアパシフィック	1,075	1,090	△ 16	△ 1.4%	△ 40	24	2.2%
その他事業	42	42	△ 0	△ 0.1%	△ 2	2	4.7%
調整額（全社・消去）	△ 331	△ 263	△ 68	-	△ 0	△ 67	-
無形資産償却費	△ 403	△ 394	△ 8	-	△ 4	△ 4	-
事　業　利　益	**2,630**	**2,851**	**△ 221**	**△ 7.8%**	**1**	**△ 222**	**△ 7.8%**

＜主要通貨為替レート推移＞

（円）	2025年 実績	2024年 実績
ユーロ	169.2	164.1
豪ドル	96.5	100.1

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

為替影響（2026年予想）

（億円）	2026年予想	前年	（為替影響込み） 増減	（為替影響込み） 前年比(%)	為替影響	（為替一定） 増減	（為替一定） 前年比(%)
日本・東アジア	14,228	13,272	956	7.2%	-	956	7.2%
欧州	8,731	7,682	1,049	13.7%	565	484	6.3%
アジアパシフィック	9,144	7,832	1,312	16.8%	1,122	190	2.4%
その他	279	267	12	4.5%	△ 10	22	8.3%
調整額（全社・消去）	△ 182	△ 106	△ 76	-	-	△ 76	-
売　上　収　益	**32,200**	**28,947**	**3,253**	**11.2%**	**1,677**	**1,576**	**5.4%**
日本・東アジア	1,170	1,116	54	4.8%	-	54	4.8%
欧州	1,218	1,131	88	7.8%	77	11	1.0%
アジアパシフィック	1,289	1,075	215	20.0%	158	57	5.3%
その他事業	19	42	△ 22	△ 53.5%	△ 2	△ 20	△ 48.8%
調整額（全社・消去）	△ 348	△ 331	△ 17	-	-	△ 17	-
無形資産償却費	△ 439	△ 403	△ 37	-	△ 38	2	-
事　業　利　益	**2,910**	**2,630**	**280**	**10.6%**	**195**	**85**	**3.2%**

＜主要通貨為替レート推移＞

（円）	2026年予想	2025年実績
ユーロ	184.0	169.2
豪ドル	110.0	96.5

＜2026年主要通貨為替感応度＞

（億円）	売上収益	事業利益
ユーロ	±47	±7
豪ドル	±83	±12

※ 1円変動による影響額（通期）
※ 無形資産償却額に対する為替影響は含まない。
※ 為替影響 ＝ 現地通貨業績の円換算における影響（貿易為替影響除く）

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

日本（酒類：売上収益・販売数量）

（億円）

※リベート控除前	2025年実績	増減	前年比(%)	予想比	2026年予想	増減	前年比(%)
ビール類	5,677	△ 251	△ 4.2%	△ 278	5,950	273	4.8%
洋酒	693	△ 34	△ 4.7%	△ 77	784	90	13.0%
RTD	464	△ 5	△ 1.1%	△ 88	569	105	22.6%
ワイン	423	△ 33	△ 7.2%	△ 42	471	48	11.4%
焼酎	170	△ 35	△ 17.2%	△ 17	167	△ 3	△ 1.9%
アルコールテイスト飲料	553	27	5.1%	△ 11	608	55	9.9%

（万箱）	2025年実績	増減	前年比(%)	予想比	2026年予想	増減	前年比(%)
スーパードライ	6,917	△ 416	△ 5.7%	△ 98	7,102	184	2.7%
スタイルフリー	1,135	△ 73	△ 6.1%	△ 39	1,093	△ 42	△ 3.7%
クリアアサヒ	1,116	△ 130	△ 10.4%	△ 9	998	△ 118	△ 10.6%

（前年比）	2025年実績		
※数量ベース	（瓶）	（缶）	（樽）
ビール類	△7%	△9%	△3%
ビール	△7%	△6%	△3%

（前年比）	【参考】ビール類市場	
※数量ベース	2025年実績	2026年予想
ビール類	△4~5%	△3%程度
ビール	△1~2%	前年並み
発泡酒＋新ジャンル	△8~9%	△7~8%

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

日本（飲料：販売数量）

（万箱）	2025年 実績	増減	前年比(%)	予想比	2026年 予想	増減	前年比(%)
販売数量	**23,291**	**△ 2,464**	**△ 9.6%**	**△ 2,339**	**23,754**	**463**	**2.0%**
三ツ矢	3,392	△ 729	△ 17.7%	△ 478	3,523	131	3.9%
ウィルキンソン	3,052	△ 317	△ 9.4%	△ 218	3,148	96	3.2%
カルピス	3,026	△ 499	△ 14.2%	△ 334	3,124	97	3.2%
ワンダ	2,357	△ 157	△ 6.3%	△ 203	2,192	△ 166	△ 7.0%
十六茶	1,816	△ 65	△ 3.5%	△ 214	1,802	△ 14	△ 0.8%
おいしい水	1,833	△ 19	△ 1.0%	△ 97	1,906	73	4.0%

（前年比）	チャネル別
※数量ベース	**2025年実績**
自動販売機	△17.3%
CVS	△0.6%
SM	△9.4%

（前年比）	容器別
※数量ベース	**2025年実績**
缶	△11.1%
PET合計	△8.8%
PET大型	△11.1%
PET小型	△8.0%

（前年比）	【参考】 飲料市場	
※数量ベース	**2025年実績**	**2026年予想**
合計	△3%程度	△1%程度

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

四半期業績

(億円)	第3四半期累計	(為替一定) 増減	(為替一定) 前年比(%)	第4四半期	増減	前年比(%)	2025年実績	(為替一定) 増減	(為替一定) 前年比(%)
日本・東アジア	10,285	136	1.3%	2,987	△ 645	△ 17.8%	13,272	△ 509	△ 3.7%
欧州	5,826	△ 180	△ 3.0%	1,856	△ 14	△ 0.8%	7,682	△ 194	△ 2.5%
アジアパシフィック	5,313	167	3.1%	2,519	125	5.3%	7,832	292	3.7%
その他	201	7	3.3%	65	5	8.2%	267	12	4.5%
調整額（全社・消去）	△ 77	△ 5	-	△ 29	7	-	△ 106	2	-
売　上　収　益	**21,548**	**125**	**0.6%**	**7,399**	**△ 522**	**△ 6.8%**	**28,947**	**△ 397**	**△ 1.4%**
日本・東アジア	1,000	△ 32	△ 3.1%	117	△ 182	△ 60.9%	1,116	△ 214	△ 16.1%
欧州	918	9	1.0%	213	29	19.2%	1,131	38	3.6%
アジアパシフィック	595	△ 6	△ 0.9%	480	30	6.5%	1,075	24	2.2%
その他事業	39	3	7.7%	2	△ 1	△ 28.2%	42	2	4.7%
調整額（全社・消去）	△ 233	△ 71	-	△ 98	4	-	△ 331	△ 67	-
無形資産償却費	△ 295	△ 2	-	△ 108	△ 2	-	△ 403	△ 4	-
事　業　利　益	**2,024**	**△ 99**	**△ 4.6%**	**606**	**△ 123**	**△ 17.4%**	**2,630**	**△ 222**	**△ 7.8%**

※第3四半期累計および2025年実績の前年増減・前年比は、当年の外貨金額を、前年の為替レートで円換算し算出。
　第4四半期は、第3四半期累計と2025年実績の差し引きで算出。

©ASAHI GROUP HOLDINGS. All rights reserved.

本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。
万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。